



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社グリーンズ 上場取引所 東 名
コード番号 6547 URL <https://www.kk-greens.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村木 雄哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 浩也 TEL 059(351)5593
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	20,717	14.0	3,499	57.4	3,400	53.6	3,367	75.7
2023年6月期第2四半期	18,174	56.7	2,223	-	2,214	-	1,916	-

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 3,377百万円 (75.7%) 2023年6月期第2四半期 1,922百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	238.16	-
2023年6月期第2四半期	148.85	138.20

(注) 2024年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	26,486	8,369	31.6
2023年6月期	23,786	5,367	22.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 8,369百万円 2023年6月期 5,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	9.00	9.00
2024年6月期	-	0.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,300	7.9	4,700	27.1	4,400	26.0	4,400	5.0	302.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

上記業績予想は、2023年8月14日付け決算短信で公表いたしました業績予想から修正をおこなっております。詳細につきましては、本日付けで別途公表しております「2024年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	13,878,263株	2023年6月期	12,886,200株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	9,843株	2023年6月期	9,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	13,631,249株	2023年6月期2Q	12,876,458株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算説明会について

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算説明資料は2024年2月13日（月）に掲載の当社ウェブサイトをご覧ください。

3. 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	0.00	0.00	0.00	40,000.00	40,000.00
2024年6月期	0.00	0.00			
2024年6月期(予想)			—	40,000.00	40,000.00

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	0.00	0.00	0.00	40,000.00	40,000.00
2024年6月期	0.00	0.00			
2024年6月期(予想)			—	—	—

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年7月1日から2023年12月31日まで)における我が国経済は、経済活動の正常化が一段と進み、雇用や所得環境の改善が進む中、景気は緩やかに回復しています。一方で長引くロシア・ウクライナ情勢による物価高やパレスチナ情勢によるエネルギー供給への影響、世界的なインフレ抑制のための金融引き締めや中国経済の停滞等による世界経済の不透明感が日本経済へ与える影響等には、依然として留意が必要です。

ホテル業界におきましては、2024年1月31日に観光庁が公表している最新の宿泊旅行統計調査(2023年11月第2次速報、2023年12月第1次速報)によりますと、2023年11月の延べ宿泊者数は5,292万人泊(前年同月比+15.5%、2019年同月比+6.6%)、12月は5,149万人泊(前年同月比+9.4%、2019年同月比+9.3%)と、前年並びにコロナ禍前を上回り、順調に推移しています。

このような事業状況の下で、当社運営ホテルにおける月次の客室稼働率は前年同月を下回ったものの、客室単価は、各店舗地域の需要に応じたレベニューマネジメントの強化や、レジャー需要を確実に獲得したことで前年同月を大幅に上回りました。2023年11月度の平均客室単価は9,890円となり、2023年8月度に達成した平均客室単価9,457円を上回り、過去最高を更新いたしました。

当社グループにおいて宿泊特化型ホテルを中心に全国で展開している「チョイスブランド」では、2022年12月14日開業のコンフォートホテル四日市(三重県四日市市)の当第2四半期連結累計期間における売上高の貢献がありました。また、2023年7月1日に、世界最大級の独立系ホテルコレクションブランドである「Ascend Hotel Collection™」としての運営を開始したhotel around TAKAYAMA(岐阜県高山市)、「コンフォートホテル」の派生ブランド「コンフォートホテルERA」として2023年9月13日にリブランドしたコンフォートホテルERA京都東寺(京都府京都市)、同じく2023年9月20日にリブランドしたコンフォートホテルERA神戸三宮(兵庫県神戸市)は、当第2四半期連結累計期間におけるレジャー需要の獲得に貢献しました。なお、2023年12月20日には、オペレーターチェンジ案件として、コンフォートイン名古屋栄駅前(愛知県名古屋市)を開業いたしました。営業面においては、需要に応じたレベニューマネジメントの強化、及びレジャーやインバウンド需要獲得に向けた販促強化を図った結果、当事業の売上高は前年同期比18.0%増の17,385百万円となり、客室稼働率は前年同期比3.2ポイント減の81.2%、客室単価は前年同期比22.0%増の9,668円となりました。

三重県・東海地方を中心に地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルや宿泊特化型ホテルを展開している「オリジナルブランド」及び「その他事業」においては、宴会や会議利用の需要回復と並行して、中期経営計画において掲げるバンケット機能の高度化の一環として、バンケットルームの増床に向けた検討及び準備等を推進いたしました。営業面においては、長期宿泊を伴う設備工事やメンテナンス等のビジネス需要の取り込み、及び各店舗地域の顧客動向や需要の状況に合わせたレベニューマネジメントによる販促強化を図った結果、売上高は前年同期比3.5%減の3,239百万円となり、客室稼働率は前年同期比0.3ポイント減の75.7%、客室単価は前年同期比11.7%増の7,030円となりました。

なお、当社グループ全体の客室稼働率は前年同期比2.4ポイント減の80.2%、客室単価は前年同期比21.3%増の9,222円、ホテル軒数は98店舗、客室数はチョイスブランド11,820室、オリジナルブランド2,827室の合計14,647室となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高20,717百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益3,499百万円(前年同期比57.4%増)、経常利益3,400百万円(前年同期比53.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,367百万円(前年同期比75.7%増)となりました。

- (注) 1. 2023年7月1日付でhotel around TAKAYAMAが「Ascend Hotel Collection™」として運営を開始したことにより、「オリジナルブランド」から「チョイスブランド」に所属が変更となったため、ホテル軒数及び合計室数に変更はございませんが、ブランド別の客室数に変動がございます。
2. 文中記載の客室稼働率ならびに客室単価は、当第2四半期連結累計期間における数値となります。月別の数値に関しましては当社ホームページに掲載しております。

株式会社グリーンズ <https://www.kk-greens.jp/>

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、26,486百万円（前連結会計年度末23,786百万円）と、2,699百万円増加いたしました。

うち流動資産は、12,776百万円（同9,992百万円）と2,784百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、13,709百万円（同13,794百万円）と84百万円減少いたしました。これは主に建物の減少によるものであります。

負債につきましては、18,116百万円（同18,419百万円）と302百万円減少いたしました。

うち流動負債は、7,597百万円（同7,467百万円）と130百万円増加いたしました。これは主に買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、10,518百万円（同10,951百万円）と432百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、8,369百万円（同5,367百万円）と3,001百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は31.6%（前連結会計年度末は22.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,973百万円増加し、8,701百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,044百万円（前年同四半期は2,149百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3,399百万円、仕入債務の増減額（△は減少）153百万円による資金の増加があったのに対し、売上債権の増減額（△は増加）727百万円による資金の減少があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は236百万円（前年同四半期は388百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出151百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は835百万円（前年同四半期は3,749百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出415百万円、配当金の支払額376百万円による資金の減少があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月14日に公表いたしました2024年6月期連結業績予想を修正しております。詳細については、本日（2024年2月13日）公表いたしました「2024年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,727	8,701
売掛金	2,146	2,873
原材料及び貯蔵品	116	148
前払費用	961	1,011
その他	40	42
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	9,992	12,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,432	4,324
工具、器具及び備品（純額）	403	382
土地	1,828	1,828
リース資産（純額）	139	114
建設仮勘定	2	15
有形固定資産合計	6,806	6,665
無形固定資産	109	98
投資その他の資産		
投資有価証券	76	93
長期貸付金	8	3
差入保証金	5,638	5,651
その他	1,189	1,226
貸倒引当金	△33	△29
投資その他の資産合計	6,879	6,946
固定資産合計	13,794	13,709
資産合計	23,786	26,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,088	1,241
短期借入金	2,600	2,600
1年内返済予定の長期借入金	821	818
未払金	1,338	1,147
未払費用	708	791
未払法人税等	64	31
未払消費税等	523	536
その他	321	429
流動負債合計	7,467	7,597
固定負債		
長期借入金	10,227	9,815
資産除去債務	549	558
その他	175	145
固定負債合計	10,951	10,518
負債合計	18,419	18,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	3,251	3,251
利益剰余金	2,021	5,012
自己株式	△8	△9
株主資本合計	5,363	8,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	14
その他の包括利益累計額合計	3	14
純資産合計	5,367	8,369
負債純資産合計	23,786	26,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	18,174	20,717
売上原価	13,065	13,228
売上総利益	5,108	7,488
販売費及び一般管理費	2,885	3,989
営業利益	2,223	3,499
営業外収益		
違約金収入	18	24
助成金収入	32	6
その他	17	12
営業外収益合計	68	44
営業外費用		
支払利息	46	141
支払補償費	29	—
その他	0	0
営業外費用合計	76	142
経常利益	2,214	3,400
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	26	1
解体撤去費用	239	—
特別損失合計	266	1
税金等調整前四半期純利益	1,948	3,399
法人税等	31	31
四半期純利益	1,916	3,367
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,916	3,367

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,916	3,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	10
その他の包括利益合計	5	10
四半期包括利益	1,922	3,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,922	3,377

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,948	3,399
減価償却費	252	254
固定資産売却益	—	△0
固定資産除却損	26	1
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	46	141
借入手数料	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△784	△727
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△27	△32
仕入債務の増減額 (△は減少)	197	153
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△208	12
未払金の増減額 (△は減少)	443	△116
未払費用の増減額 (△は減少)	183	81
前受金の増減額 (△は減少)	101	78
その他	79	2
小計	2,258	3,246
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△45	△139
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△64	△63
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,149	3,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△389	△151
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△2	△14
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
差入保証金の差入による支出	△14	△31
差入保証金の回収による収入	19	16
長期前払費用の取得による支出	—	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,000	—
長期借入れによる収入	849	—
長期借入金の返済による支出	△365	△415
配当金の支払額	△182	△376
借入手数料の支払額	△0	—
自己株式の取得による支出	—	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△49	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,749	△835
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,989	1,973
現金及び現金同等物の期首残高	10,015	6,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,026	8,701

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、ブランド別に記載しております。

事業部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	前年同期比 (%)
チョイスブランド (百万円)	17,385	118.0
オリジナルブランド及び その他の事業 (百万円)	3,332	96.7
合 計 (百万円)	20,717	114.0

(注) 1. 事業部門間の取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。